## 伐採及び伐採後の造林の変更届出書

年 月 日

庄原市長 様

## 森林所有者

住 所

氏 名

電話番号

## 伐採する者(立木を伐採する権原を有する者)

住 所

氏 名

電話番号

# 伐採後の造林をする者(造林する権原を有する者)

住 所

氏 名

※法人にあっては、名称及び代表者の氏名

年 月 日付で届出の内容に変更がありましたので、森林法第10条の8第1項の規定により届け出ます。

本伐採は届出者の内(森林所有者・伐採する者)が所有する立木を伐採するものです。

変更	箇	所	1
Øす.	る。		

※該当の方に丸をしてください

1 森林の所在場所			
町·大字	字	地 番	備考

# 2 伐採及び伐採後の造林の計画

別添の伐採計画書及び造林計画書のとおり

	<b>伐採実施に当たっての周辺住民などへの周知の方法</b> 一定以上の伐採の場合は記載すること。)
4	備考

### 注意事項

- 1 伐採する森林の所在する市町ごとに提出すること。
- 2 伐採する者と伐採後の造林をする者とが異なり、これらの者が共同して提出する場合にあつては、当該伐採する者と当該伐採後の造林をする者が、伐採及び伐採後の造林の計画をそれぞれ作成した上で、連名で提出すること。
- 3 伐採及び伐採後の造林の計画は、森林の所在場所ごとに記載することとし、面積は、小数第2位まで記載し、第3位を四捨五入すること。

#### 伐採計画書

# 伐採者

住所氏名

電話番号

※法人にあっては、名称及び代表者の氏名

変更箇所に
<b>⊿</b> する。

1	伐採(	カ計	.面
	1 <i>Y</i> .135 (	//al	1001

伐	採	面	積	ha(うち <i>)</i>	人工林	ha,	天然林	ha)
伐	採	方	法	主伐(皆伐・択伐)・間伐	伐苕	彩率		%
作	業	& 託	先					
伐	採	樹	種					
伐	ž	<del>K</del>	齢					
伐	採の	) 期	間					
集	材	方	法	集材路・架線・その個	也 (		)	
	集材路 予定幅			幅員 m ·	延長	1	m	

2 (7	<b>備考</b>

#### 注意事項

- 1 伐採率欄には、立木材積による伐採率を記載すること。
- 2 樹種は、すぎ、ひのき、まつ(あかまつ及びくろまつをいう。)、からまつ、えぞまつ、とどまつ、その他の針葉樹、ぶな、くぬぎ及びその他の広葉樹の別に区分して記載すること。
- 3 伐採齢欄には、伐採する森林が異齢林の場合においては、伐採する立木のうち最も 多いものの年齢を記載し、最も年齢の低いものの年齢と最も年齢の高いものの年齢と を「(○~○)」のように記載すること。
- 4 伐採の期間が1年を超える場合においては、年次別に記載すること。
- 5 伐採する区域を、届出書毎に 1/5,000 より縮尺が大きい図面に赤色で図示したものを添付すること。なお、伐採した立木を搬出する場合は、搬出経路を青色で図示すること。(測量データがある場合は、その図面を添付してもよい。)

# 造林計画書

# 造林者

住 所 氏 名 電話番号

※法人にあっては、名称及び代表者の氏名

造林	面積(A+B+	C + D)					ha		
	工造林による面積	漬 (A+B)					ha		
	植栽による面積	(A)					ha		
大工播種による面積 (B) 天然更新による面積 (C+D)							ha		
天	然更新による面積	漬 (C+D)		ha					
ぼう芽更新による面積(C) 天然更新補助作業の有無							ha		
					表処理・刈出 )他(	し・植込み )・な			
	天然下種更新に	よる面積(D)				ha			
	天然更新補助的	作業の有無			表処理・刈出 )他(	し・植込み )・な			
(2) 造材	の方法別の造林	の計画	1				·	T .	
		造林の期間	造材	林樹種	樹種別の 造林面積	樹種別の 植栽本数	作 業 委託先	鳥獣対	
人(植	工 造 林 栽・人工播種)				ha	本			
	然 更 新 ぼう芽更新・ * 下種更新)								
道	年後において 確な更新が されない場合								
(3) 代坯(	後において森林以	外の用途に供る	される	こととな	る場合のその	)用途	V		

#### 注意事項

- 1 造林面積欄には、伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途を記載した場合を除き、主伐に係る伐採面積と一致するよう記載すること。
- 2 造林樹種欄, 樹種別の造林面積欄及び樹種別の植栽本数欄には, 複数の樹種を造林 する場合には, 造林する樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。
- 3 5年後において適確な更新がなされない場合欄には、造林の方法を天然更新による場合(伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途を記載した場合であつて、伐採の終了した日から5年後において当該用途に供されていないときを含む。)における造林の期間、造林樹種、樹種別の造林面積、樹種別の植栽本数及び鳥獣害対策を記載すること。
- 4 鳥獣害対策欄には、防護柵の設置、幼齢木保護具の設置などの方法を記載すること。
- 5 伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途欄には、伐 採後5年以内において当該伐採跡地が森林以外の用途に供されることとなる場合に のみ記載すること